

町の発展にご尽力感謝します

平成15年度 羽幌町 功労・功績・善行表彰

羽幌町表彰条例に基づき、
平成15年度の表彰審議会で
功労者2名、功績者4名、善行者4団体、個人1名の
表彰が決まりました。

功労表彰

自治功労

水上 潔さん（73歳）



昭和58年から町議会議員として4期連続16年間の長きにわたり議会活動に参画され、この間、町議会議長、副議長、常任委員会委員長など数多くの重職を歴任し、特に副議長、議長在任中におけるサンセツトプラザはぼるやバラ園に代表されるリバーサイド開発事業などに優れた手腕を発揮され、また議会の円滑なる運営に大きく貢献、羽幌町の発展と地方自治の振興に多大な尽力をされました。

また、昭和63年羽幌町防犯協会の設立時から平成7年まで、会長として犯罪の無い明るい地域づくりの推進に寄与されたほか、羽幌町建設協会会長として、昭和62年から平

成13年まで中小企業における経営の安定化や施工技術の向上を図られ、地域経済活性化においても多大な貢献をされました。

社会功労

三藤 久雄さん（78歳）



昭和34年7月、本町では数少ない歯科医師として医院を開院、平成15年3月まで44年間の長きにわたり献身的な努力を続けられ、地域医療の先駆者として多大な貢献をされました。

町内はもとより近隣町村住民からの信望も厚く、多忙な中であつて、自らの歯科医院開業の翌年、昭和35年から平成15年3月まで43年間、羽幌小中学校の歯科医として児童生徒の歯科衛生の進展に寄与されるなど、住民の健康管理と保健衛生の向上に多大な尽力をされました。

また、昭和54年から平成13年までの22年間にわたり、羽幌町国民健康保険運営協議会委員として国保制度の研鑽に努め、歯科医師としての専門的知識と豊富な経験から、本町の国民健康保険事業の健全運営に大きく貢献されました。

功績表彰

自治功績

山田 義信さん（69歳）



昭和30年1月から羽幌消防団員として消防界に身を投じ、以来42年有余の長きにわたり住民の生命、身体の保全と地域防災に貢献されました。

この間、築別分団班長、部長を歴任、昭和61年には同分団長に就任され、団長、副団長を補佐することは言うまでもなく、部下団員の育成指導に尽力されるなど、その指導

力は高く評価されており、羽幌消防団組織の充実強化に大きく寄与されました。

また、災害発生時には築別分団所有の消防車両でいち早く現場に駆けつけ、状況を把握し的確な指示で被害を軽減されるなど、その勇猛果敢な行動により、地域防災に大きく貢献されました。

本間 直勝さん（65歳）



昭和28年から平成2年まで、羽幌町事務吏員として職務に精励され、総務課長・福祉課長・特別養護老人ホーム所長・財政課長など多くの要職を歴任し、数々の行政課題に積極的に取り組まれました。

平成2年には教育長に就任され、教育関連施設の充実や学校教育用教材備品の拡充を図り、未来を担う青少年の育成に大きく貢献されました。また、平成6年に収入役に就任され、現在羽幌町で運用

中のコンピューターによる財政システムは、氏の監修の下に導入され、より正確で確実な会計処理が可能となり事務処理能力の飛躍的な増進を図られました。

更に、平成10年から13年まで助役に就任され、地方行政の推進並びに山積する懸案事項の解決に全力をあげて取り組み、3つの特別職を歴任という極めて稀にみる厚き信望と見識をもち、当町行政の育成に多大な貢献をされました。

佐藤 邦夫さん（65歳）



昭和33年から平成6年まで、羽幌町事務吏員として職務に精励され、総務課長・建設課長・開発振興室長などの要職を歴任し、数多くの行政課題に積極的に取り組まれ解決に導かれました。

特に総務課長として行政改革に心血を注がれ、道内でも先駆者の取り組みとして高い

評価を得たほか、羽幌町リバーサイド開発事業を手がけた開発振興室長在任中には、温泉を活用した地域間交流の拠点となるサンセットプラザ完成に至る責任者として優れた手腕を発揮されました。

また、平成6年から13年まで教育長として、学校運営の健全化や公民館運営、更には青少年の健全育成や総合体育館建設などスポーツの普及振興を積極的に推進され、教育の向上に尽力されました。

産業功績

木村 幸男さん（65歳）



昭和32年から平成10年まで、41年の長きにわたり羽幌町漁業協同組合職員として職務に精励され、指導課長・販売課長・管理課長などの要職を歴任し、平成5年から参事として漁家経営の安定化と組合運営の合理化に力を尽くされま

した。特に平成8年の羽幌・天売・焼尻3単協の合併では関係組合職員の中心的役割を果たし、羽幌町漁業協同組合の誕生に大きく尽力され、初代参事に就任されるなど羽幌町における漁業振興発展に多大な貢献をされました。

また、羽幌町表彰審議会委員・港湾漁港審議会委員・公害対策審議会委員・行政改革懇談会委員など数多くの要職を担われる一方、羽幌町社会福祉協議会監事として地域住民の福祉向上に寄与されるなど産業経済振興のみならず、地方自治・福祉の推進にも多大な貢献をされました。

善行表彰

町の公益のため、多額の寄付をされました。

□ 札幌佐藤産業（札幌市）

代表 佐藤幸三

□ 森 悟さん（南大通1）

□ 留萌建設協会（留萌市）

会長 堀松幹夫

□ 株式会社 勝山組（留萌市）

取締役社長 勝山直身

□ 羽幌ライオンズクラブ

会長 土井鉄夫

平成15年度 羽幌町 文化賞・体育賞

体育賞

室田憲作さん（69歳）

羽幌体育指導委員として、スポーツの振興に努めるとともに、自ら多くの団体の組織に係わり運営に尽力されました。

一時転勤のため退町されましたが、平成4年に本町へ戻り、羽幌町体育協会理事、副会長、会長としてスポーツ団体の育成と本町スポーツの振興に果たされた役割は多大であり、その功績は顕著であります。

文化奨励賞

加藤 悟さん（76歳）

羽幌花木会に入会以来、菊花部長として花木の発展に尽力されるとともに、いちいち大挙菊作り講師、羽幌ミニ盆栽趣味の会講師、羽幌切り絵同好会会長を務めるなど、文化活動を実践され、文化協合理事としても積極的に活動されるなど、本町の文化振興に果たされた役割は多大であり、その功績は顕著であります。

日舞愛好会

昭和50年に発足し、以来28

年の長きにわたり日本古来の伝統を守る藤蔭流の研究を続けており、町主催の祝典などで踊りの披露、特別養護老人ホームの慰問、唄と踊りの交流まつり、羽幌町民芸術祭への参加など積極的に活動され、後継者の育成に力を入れながら日本舞踊の普及発展に尽力されるなど、本町の文化振興に果たされた役割は多大であり、その功績は顕著であります。

体育協会 スポーツ賞

体育協会スポーツ振興賞

加瀬幸男さん（56歳）

ソフトボール連盟の役員、審判員として、本町ソフトボールの普及発展に貢献されました。

西村 修さん（54歳）

羽幌町役場野球部の選手として、また、選手引退後も審判員として現在も活躍され、本町野球の普及発展に貢献されました。

柳田昭一さん（53歳）

羽幌町役場野球部の選手として、また、選手引退後も審判員として現在も活躍され、本町野球の普及発展に貢献されました。

新沼明男さん（52歳）

少年野球の指導育成に尽力され、全道大会において栄誉ある戦績を残すなど、その功績は高く評価されています。

体育協会スポーツ奨励賞

寺沢 樹さん（18歳）

高体連旭川地区大会陸上競技円盤投げで優勝し、同全道大会でも第5位となり長崎県で開催された全国大会に出場という栄に輝きました。

文化協会賞

文化協会振興賞

竹内進一さん（85歳）

木彫サークル隠匠会の設立に活躍され、また、自らも活

力ある作品を発表するとともに会員の指導にあたるなど、木彫を通じて本町の文化振興に貢献されました。

平向律子さん（67歳）

茶道みどりの会の講師として茶道の指導にあたるとともに、町内イベントなどへ参加し、茶道の楽しさを伝えるなど、茶道の普及発展に尽力され、本町の文化振興に貢献されました。

舞踊サークル 天売はまなす会

昭和59年結成以来、地域のイベントに積極的に参加するなど、日本舞踊を通じて地域に根ざした活動を行い地域文化の発展に尽力され、本町の文化振興に貢献されました。

中村重昭さん（58歳）

羽幌民謡会入会以来、民謡三味線、尺八などの指導資格を取得するとともに、会員の指導にあたるなど、民謡の普及発展に尽力され、本町の文化振興に貢献されました。